

千城台地区学校適正配置・小学校の統合の検討シミュレーション

1. 現行学区での場合

No.	マップ	統合パターン	年度	H26	H27	H28	H29	H30
1		3校統合(西・南・旭)	学級数	18	16	15	14	12
			6年生	③ (96)	③ (108)	③ (100)	③ (81)	② (75)
			5年生	③ (108)	③ (100)	③ (81)	② (75)	② (73)
			4年生	③ (100)	③ (81)	② (75)	② (73)	② (69)
			3年生	③ (81)	② (75)	② (73)	② (69)	② (71)
			2年生	③ (75)	③ (73)	② (69)	③ (71)	② (59)
			1年生	③ (73)	② (69)	③ (71)	② (59)	② (58)
		児童数	533	506	469	428	405	
		2校統合(北・東)	学級数	16	16	15	16	15
			6年生	③ (90)	③ (84)	② (71)	③ (90)	③ (104)
			5年生	③ (84)	② (71)	③ (90)	③ (104)	② (70)
			4年生	② (71)	③ (90)	③ (104)	② (70)	③ (84)
			3年生	③ (90)	③ (104)	② (70)	③ (84)	② (58)
			2年生	③ (104)	② (70)	③ (84)	② (58)	③ (99)
1年生	② (70)		③ (84)	② (58)	③ (99)	② (56)		
児童数	509	503	477	505	471			
2		3校統合(北・西・南)	学級数	16	16	15	13	12
			6年生	③ (86)	③ (79)	③ (81)	③ (77)	② (67)
			5年生	③ (79)	③ (81)	③ (77)	② (67)	② (68)
			4年生	③ (81)	③ (77)	② (67)	② (68)	② (71)
			3年生	③ (77)	② (67)	② (68)	② (71)	② (70)
			2年生	② (67)	② (68)	③ (71)	② (70)	② (67)
			1年生	② (68)	③ (71)	② (70)	② (67)	② (50)
		児童数	458	443	434	420	393	
		2校統合(東・旭)	学級数	19	18	16	16	15
			6年生	③ (100)	③ (113)	③ (90)	③ (94)	③ (112)
			5年生	③ (113)	③ (90)	③ (94)	③ (112)	② (75)
			4年生	③ (90)	③ (94)	③ (112)	② (75)	③ (82)
			3年生	③ (94)	③ (112)	② (75)	③ (82)	② (59)
			2年生	④ (112)	③ (75)	③ (82)	② (59)	③ (91)
1年生	③ (75)		③ (82)	② (59)	③ (91)	② (64)		
児童数	584	566	512	513	483			

2. 千城台北4丁目および御成台1～3丁目を千城台北小区とした場合

No.	マップ	統合パターン	年度	H26	H27	H28	H29	H30
3		3校統合(東・南・旭)	学級数	18	18	18	18	16
			6年生	③ (106)	③ (109)	③ (98)	③ (99)	③ (105)
			5年生	③ (109)	③ (98)	③ (99)	③ (105)	③ (79)
			4年生	③ (98)	③ (99)	③ (105)	③ (79)	③ (84)
			3年生	③ (99)	③ (105)	③ (79)	③ (84)	② (74)
			2年生	③ (105)	③ (79)	③ (84)	③ (74)	③ (77)
			1年生	③ (79)	③ (84)	③ (74)	③ (77)	② (66)
		児童数	596	574	539	518	485	
		2校統合(北・西)	学級数	15	13	12	13	13
			6年生	③ (80)	③ (83)	② (73)	② (72)	② (74)
			5年生	③ (83)	② (73)	② (72)	② (74)	② (64)
			4年生	② (73)	② (72)	② (74)	② (64)	② (69)
			3年生	② (72)	② (74)	② (64)	② (69)	② (55)
			2年生	③ (74)	② (64)	② (69)	② (55)	③ (81)
1年生	② (64)		② (69)	② (55)	③ (81)	② (48)		
児童数	446	435	407	415	391			

上掲の3つのシミュレーションは

- (注1) 平成24年5月1日現在の児童推計に基づく。特別支援学級は除く。
- (注2) 学級数は、1・2年生は35人学級編制、3～6年生は38人学級編制で算出。
- (注3) 統合の組み合わせとして考えられる全シミュレーション(51通り)から「学校規模(概ね適正規模となる) および学区の接続(飛び学区にならない)から見て妥当と考えられるシミュレーション」として絞った12通りのうちの3つである。
- (注4) 6月15日の地元代表協議会において、以下の視点で検討の結果、提示することが確認されたものである。
 - ①平成30年度までに単学級(学年1学級)とならない」
 - ②「シミュレーション内の組み合わせどうしに規模の不均衡(学級数の差)がない」
- (注5) 「千城台地区の小学校は統合の必要がある旨が合意されていることを受け、より具体的に組み合わせを検討していくためのもの」であり、「既に組み合わせとして決定されているもの」ではない。